

### 〈クルクマさび斑病〉



苞、花茎及び葉の病徴。



ミイラ状に枯れた苞。

### 〈クルクマさび斑病〉

病原菌：Acremonium sp.

#### 1. 症 状

苞、花茎及び葉に、1～4mm大で、褐色～暗褐色の鉄さび状の病斑を多数生じる。病斑の周囲は黄化し、やがて苞、花茎及び葉が褐変枯死する。多湿時には、病斑部に分生子と菌糸からなる白色の菌体を生じる。

#### 2. 生 態

本病の詳細な発生生態については不明であるが、雨滴や灌水などにより、分生子が飛散し、感染するものと考えられる。

#### 3. 防 除

1) 発病株は直ちに除去する。 2) 株分けは健全株から行う。

#### 4. 記 事

本病は1992年9月、八丈島の切り花生産圃場で発生した。